佐倉市GIGAスクール構想の実現へ
～一人一台端末は令和の学びの「スタンダード」～

GIGAスクールとは、令和元年12月に文部科学省が発表した一連の教育改革案のことです。
GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」（全世界とイノベーションへの扉をすべての子どもたちへ）の略語です。

佐倉市教育委員会

ＧＩＧＡスクール構想

✓ １人１台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する

✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

※文科省「GIGAスクール構想の実現へ」より

佐倉市教育委員会

佐倉市GIGAスクール構想

教育ビジョンに基づく施策「学力向上・学習内容の充実」

「わかる授業」「楽しい授業」を実践し、「もっと学びたい」という意欲を高めるとともに、各教科や総合的な学習の時間では、自ら課題を見つけ自ら解決する力や学びあいなどを通じてコミュニケーション能力を育てていきます。また、保護者との連携を図りながら家庭学習の習慣化を図ります。

さらに１人１台タブレット端末で

佐倉市の教育が変わる！

さらに「わかる授業・楽しい授業」へ

佐倉市教育委員会

佐倉市GIGAスクール構想学びのイメージ

学びのステップアップ

ステップ4　個別最適×協働的な学びで主体的・対話的な深い学びの実現
- 児童生徒がICTを活用して自ら学習状況を把握し、主体的に学習を調整する。
- 異なる考え方をICTを活用して組み合わせ、より良い学びを生み出す。
- 予測不可能な未来社会の形成に参画できる学びを児童生徒と教師で創る。

ステップ3　ICTを活用し、児童生徒が教師と共に学び方を決める
- AIドリルで学ぶ。
- 様々な情報を主体的に収集、整理、分析する。
- 推敲しながら長文を作成する。
- 写真や音声、動画などを用いた多様な資料、作品の作成。
- つながる相手を自ら選択して協働する。

ステップ2　ICTを活用する（児童生徒が効果的に学べるよう教師が学び方を支援する）
- 動画や写真を撮影する。
- インターネットなどを使い、検索する。
- 小テストをタブレットで行う。
- 文章を作成する。
- 作品や意見へ相互にコメントする。
- 新聞などをクラウドで共同製作する。
- 情報を共有する。

ステップ1　ICT機器操作ができる
- 機器の使用方法や取り扱い方について知る。
- 基本的な技能を身に付ける。
- 情報モラルについて学ぶ。

佐倉市教育委員会

学びへの活用　ＩＣＴの「学び」への活用

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるＩＣＴ

検索サイトを活用した調べ学習

・一人一人が情報を検索し、収集・整理
・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する

文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

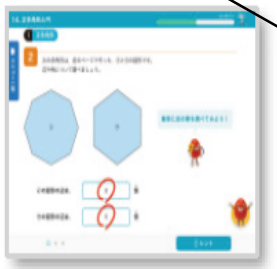
・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い

一斉学習の場面での活用

・誰もがイメージしやすい教材提示
・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める

一人一人の学習状況に応じた個別学習

・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



ミライシードのドリルパークやラインズeライブラリなど

※文科省「GIGAスクール構想の実現へ」より

活用場面

“１人１台”を活用して、教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

国語

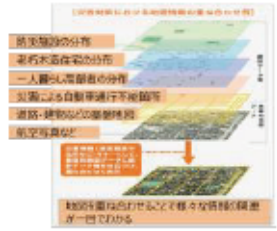
書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

・文書作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言しあう
・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する

社会

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

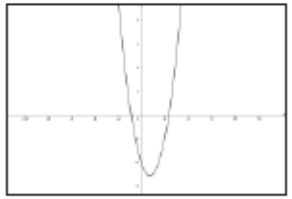
・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
・分析した情報を、プレゼンソフトで、わかりやすく加工して発表



（国土交通省HPより引用）

算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する



・画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う

理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

・観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
・観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する

※文科省「GIGAスクール構想の実現へ」より

佐倉市教育委員会

佐倉市GIGAスクール構想に向けて

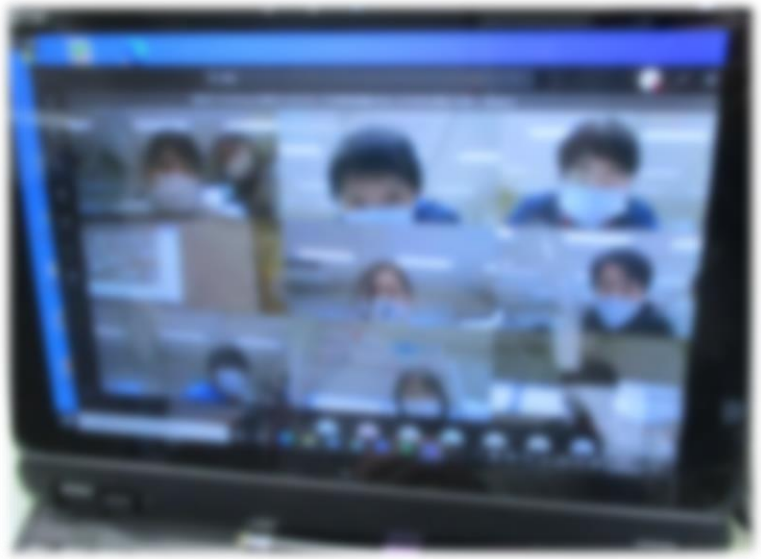
＜令和7年度の予定＞

時期	予定
令和7年9月	学習用タブレットパソコンの全台置き換え（iPad）
令和7年12月	校内ネットワークの置き換え・増強

職員研修

ICT支援員と連携した研修

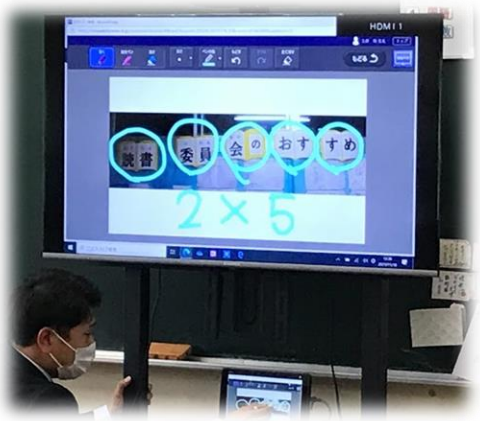
操作・活用研修



教職員同士のオンライン研修

佐倉市教育委員会

授業実践



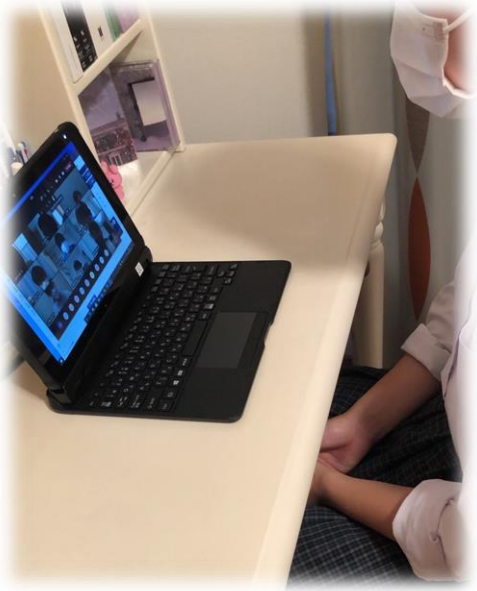
教材の提示

発表・教え合い学習

ノートとタブレットの併用

モデル校の授業参観

オンライン配信



学校と家庭の
オンライン通信

オンラインによる授業配信

オンラインによる
学活・健康観察

佐倉市教育委員会

令和7年度の目標

児童生徒の目標

ICTを活用し、児童生徒が教師と共に学び方を決める

○児童生徒が個々の学習状況・内容に応じて学習支援ソフトを選択・有効活用し、他者と協働しながら学ぶことができる。

○家庭学習でも、学習支援ソフトを活用できる。

佐倉市教育委員会

令和7年度の目標

教職員の目標

授業にICTを活用して指導する能力　肯定的回答90%以上達成

〇児童生徒の意見を効果的に集約・提示できる。
〇児童生徒の特性や学習進度等に応じ、ICTを活用して指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う。
〇児童生徒が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促す。